



今までの取組・これからの課題

協働のまちづくり

通

信

簿

問 市民活動推進課 ☎ (93) 1117

総 括

協働のまちづくり推進委員会では、市民が培った技術を活かし、新しい分野へのチャレンジとして、また行政を補完する活動すなわち協働のまちづくりを呼び掛け、豊かなまち富里の実現を目指しています。当推進委員会も市民の負託に応え取り組んできましたが、まだ道半ばと考えています。

この富里で生まれた子どもたちが、大きな誇りと自信を持って生きることができるような富里のまちづくりに、今後とも市民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いします。



環境づくり

協働のまちづくりは、市政の根幹に関わることから、市長の直属の機関を設置して推進すべきという意見がありました。まちづくりコーディネーターの育成及び充実については、コーディネーターの意欲的な取組が高く評価されていますが、市民への周知、支援活動の充実、そして市民活動推進課との連携が期待されます。市民活動支援補助金の充実については、手続きの簡素化を図りました。また、審査の方法は、提案者の思いが直接伝わるよう質疑応答の時間配分を工夫するなどの見直しを検討してもいいのではないでしょうか。市民活動補助金は、市の適切な予算措置により、活動団体の立ち上げを支援することができました。市民活動支援基金については、資金の確保とその活用方法の検討が必要です。

担い手づくり

市民活動感謝状贈呈制度の運用については、個人や団体の活動内容の周知が図られ、新たな人材の確保に寄与できるよう、引き継ぎ制度の磨きに努めていただきたいです。

市民活動補償制度の運用については、当制度を早期に導入していますが、制度の周知が十分ではないとの指摘があります。

(仮称) 地域活動ポイントについては、活用方法の検証が必要です。



情報の提供・共有

従来の電話やメールなどのツールも併せて活用することで、きめ細かな情報発信を心がけていただきたいと思います。

活動事例の紹介については、サポートセンターを中心に、市民に活用してもらえるような内容を含めた情報の提供を検討しています。

高齢者がスマートフォンを活用できるよう、スマートフォンの操作講座を開催するなど、情報の受け手に立って取り組む必要があります。

市政への参画

パブリックコメントを実施するときは、パブリックコメントにかける計画などを直接市民に説明する機会を設けるなど、市政への関心を高める方策を検討していく必要があります。

市の体制について

市民とのつながりを深めるために有効な制度の導入を検討していただきたい。

職員研修などを行い、さらなる協働推進の具現化に期待します。